

平成 22 年 5 月 17 日
(株)足利銀行
(株)あしぎん総合研究所

平成 22 年度「新入社員 意識調査」(第 1 回)

足利銀行(頭取 藤沢 智)のシンクタンクである「あしぎん総合研究所」(社長 豊田 晃)は、「平成 22 年度新入社員意識調査」を行いましたので、その結果を別紙のとおり発表いたします。今回のポイントは下記のとおりです。

記

<ポイント>

極めて厳しい就職競争線を勝ち抜いてきた平成 22 年度の新入社員。「働きたい業種・業界で会社を選び、友人の約束よりも仕事を優先し、定年まで勤めたい…」。

こんなしっかりとした若者像が浮かび上がった。

1. 会社を選んだ基準

「自分が働きたい業界・業種」が 65.1%と圧倒的に多く、次いで「会社・上司の雰囲気がよい」35.5%、「通勤に便利など立地条件」35.1%となった。

2. 就職への不安

「仕事についていけるか」が 67.6%、「上司や同僚など職場の人間関係」が 65.6%とともに多く、次いで「生活環境や習慣の変化に対応できるか」45.8%となった。

3. 勤務・転職等

男性は、「定年まで働きたい」が 57.0%と最も多く、次いで「いずれは転職したい、してもよい」23.5%となった。女性は、「定年まで働きたい」が 33.8%、「いずれは転職したい、してもよい」が 31.6%、「いずれは家庭に入りたい」が 28.3%、と回答がほぼ 3 つに割れた。

4. 出世意欲

男性は、課長・店長等のリーダー職以上を目指す回答が 72.5%となった。

5. 仕事と友人の約束が重なる

「なるべく仕事を優先」「いつでも仕事を優先」合計で 75.2%となり、仕事優先派が多い。

6. 興味・関心

<男性> ①車(マイカー) 50.6%、②スポーツ 38.7%、③パソコン・インターネット 33.2%

<女性> ①ファッション・アパレル 51.3%、②美容・エステ 25.8%、③グルメ・料理 24.6%

以上

平成 22 年度「新入社員 意識調査」(第 1 回)

＜ポイント＞

極めて厳しい就職戦線を勝ち抜いてきた平成 22 年度の新入社員。「働きたい業種・業界で会社を選び、友人の約束よりも仕事を優先し、定年まで勤めたい・・・」。

こんなしっかりとした若者像が浮かび上がった。

1. 会社を選んだ基準

「自分が働きたい業界・業種」が 65.1%と圧倒的に多く、次いで「会社・上司の雰囲気が高い」35.5%、「通勤に便利など立地条件」35.1%となった。

2. 就職への不安

「仕事についていけるか」が 67.6%、「上司や同僚など職場の人間関係」が 65.6%とともに多く、次いで「生活環境や習慣の変化に対応できるか」45.8%となった。

3. 勤務・転職等

男性は、「定年まで働きたい」が 57.0%と最も多く、次いで「いずれは転職したい、してもよい」23.5%となった。

女性は、「定年まで働きたい」が 33.8%、「いずれは転職したい、してもよい」が 31.6%、「いずれは家庭に入りたい」が 28.3%、と回答がほぼ 3 つに割れた。

4. 出世意欲

男性は、課長・店長等のリーダー職以上を目指す回答が 72.5%となった。

5. 仕事と友人の約束が重なる

「なるべく仕事を優先」「いつでも仕事を優先」合計で 75.2%となり、仕事優先派が多い。

6. 興味・関心

＜男性＞ ①車（マイカー）50.6%、②スポーツ 38.7%、③パソコン・インターネット 33.2%

＜女性＞ ①ファッション・アクセサリ 51.3%、②美容・エステ 25.8%、③グルメ・料理 24.6%

＜調査方法＞

(1) 調査期間 : 平成 22 年 3 月 25 日～4 月 23 日

(2) 調査対象 : あしぎん新入社員セミナー受講生

(セミナー開催回数 栃木県 13 回、群馬県 1 回、埼玉県 1 回)

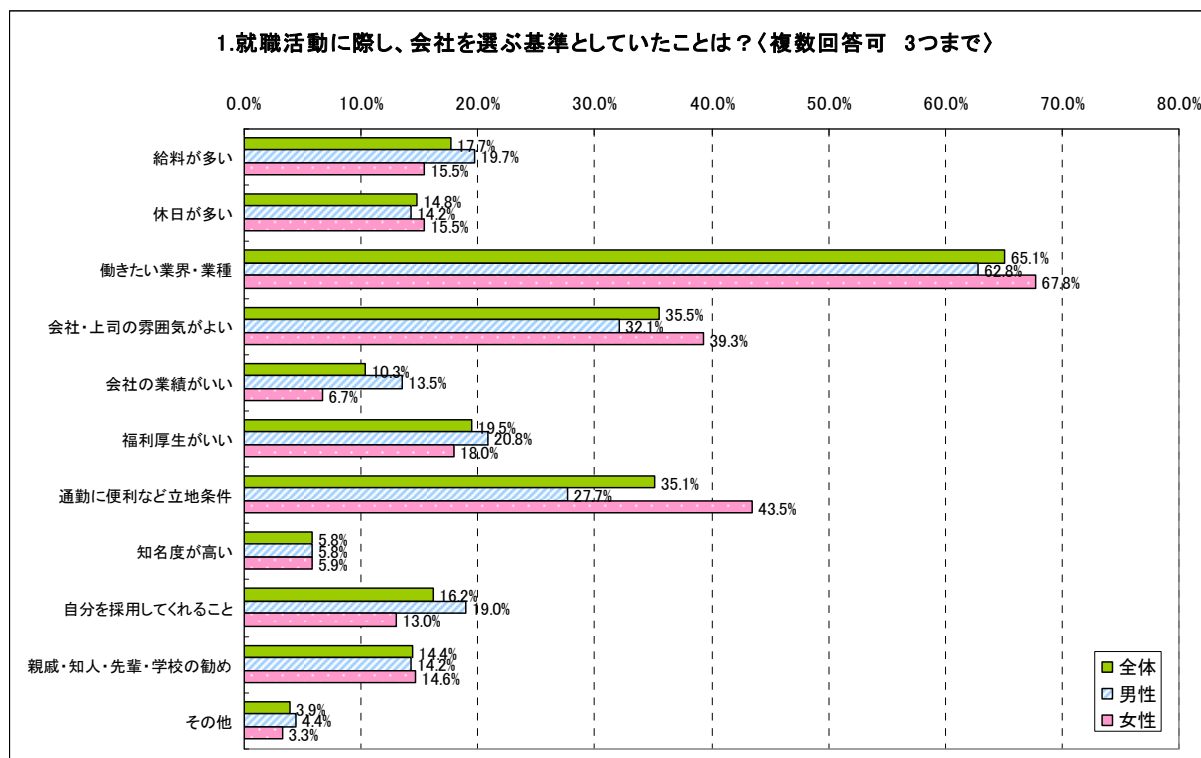
(3) 有効回答数 : 513 名 (回答率 100%)

内 訳 : 男性 274 名、女性 239 名

1. 就職活動に際し、会社を選ぶ基準としていたことは？

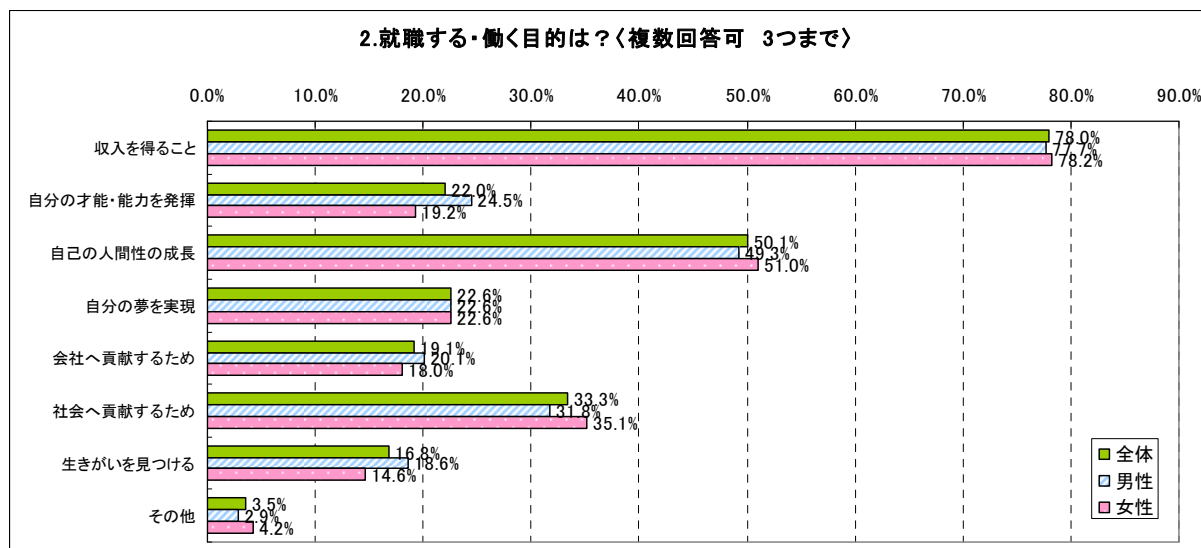
「自分が働きたい業界・業種」が65.1%と圧倒的に多く、次いで「会社・上司の雰囲気がよい」35.5%、「通勤に便利など立地条件」35.1%となった。会社選定の大前提としては、「興味ある業界・業種かどうか」がポイントのようだ。一方で、「給料」「休日」といった処遇面は比較的少なかった。

男女別では、「通勤に便利など立地条件」、「会社・上司の雰囲気がいい」で女性の回答が目立った。「会社の業績がいい」「自分を採用してくれる」は男性が多い。



2. 就職する・働く目的は？

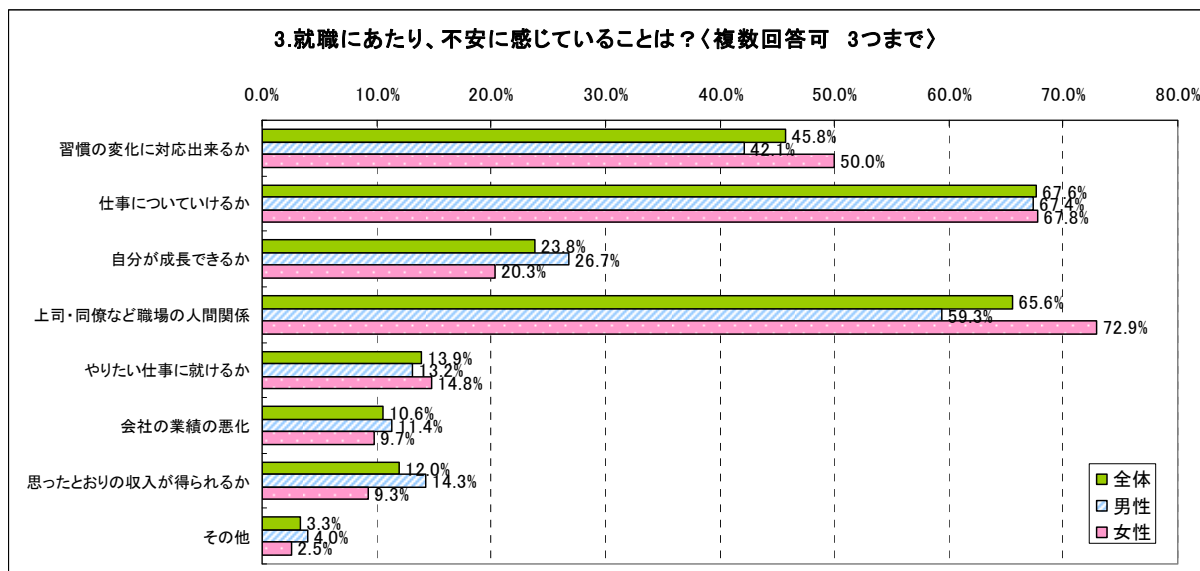
当然ながら「収入を得ること」が78.0%と最も多い。次いで多かったのは「自己の人間性の成長」50.1%、「社会の一員として社会に貢献するため」33.3%となった。2人に1人が働くことにより自分自身の人間としての成長を目指しているようだ。



3. 就職にあたり、不安に感じていることは？

「仕事についていけるかどうか」が 67.6%、「上司や同僚など職場の人間関係」が 65.6%とともに多く、次いで「生活環境や習慣の変化に対応できるか」45.8%となった。

男女別で差がみられたのは、「生活環境や習慣の変化に対応できるか」「上司や同僚など職場の人間関係」が女性で多く、「自分が成長できるか」「思ったとおりの収入が得られるか」が男性で多い。

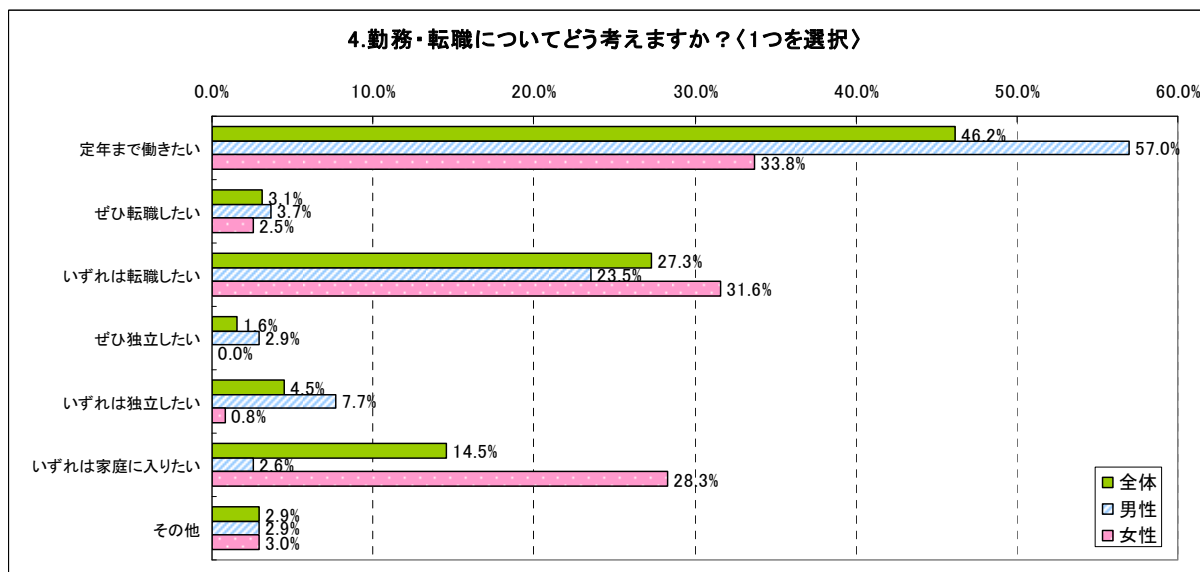


4. 勤務・転職等についてどう考えるか？

この項目では、男女の回答に大きな開きがみられた。

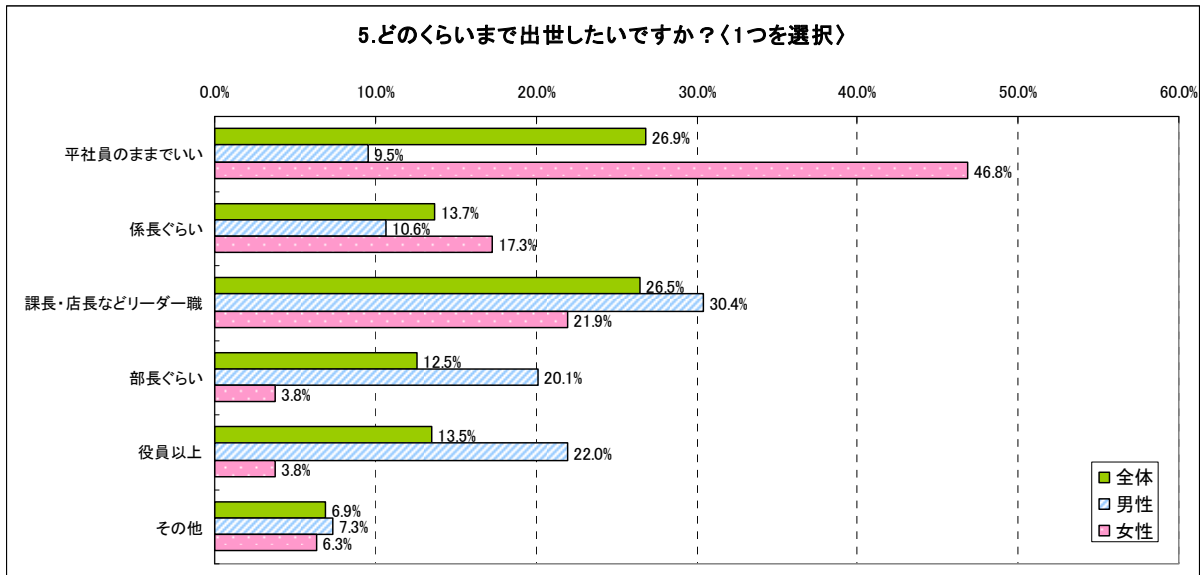
男性は、「定年まで働きたい」が 57.0%と最も多く、次いで「いずれは転職したい、してもよい」23.5%、「いずれは独立したい」7.7%となった。

女性は、「定年まで働きたい」33.8%、「いずれは転職したい、してもよい」31.6%と、「いずれは家庭に入りたい」28.3%、回答がほぼ3分割された。



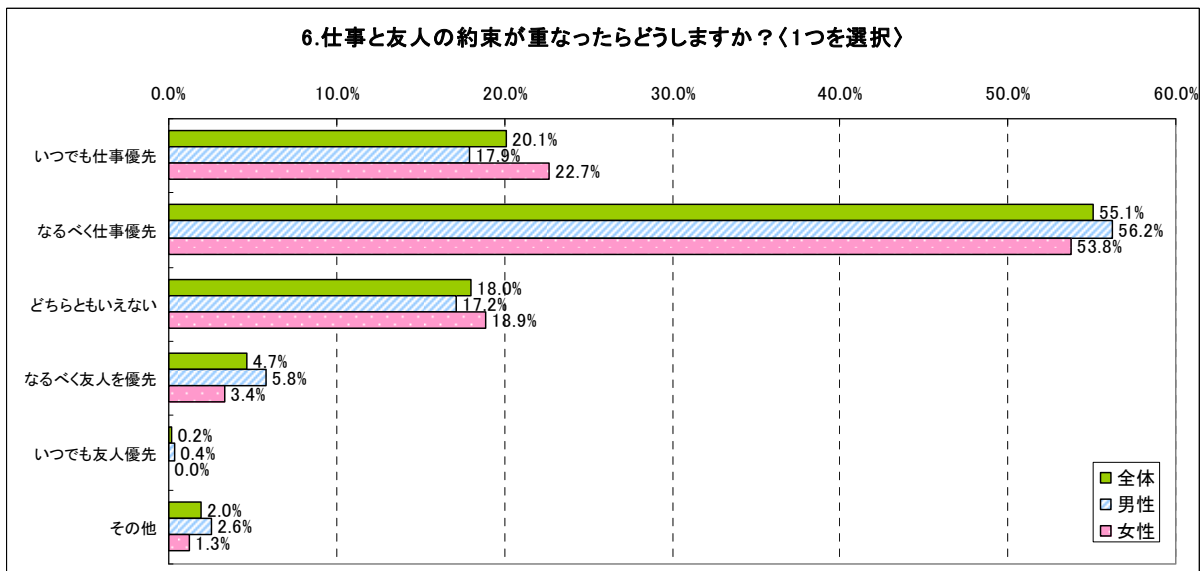
5. どのくらいまで出世したいか？

ここでも男女差がはっきりと表れた。より上席になるほど、男性の回答が多く、女性が低くなるといった結果となった。



6. 仕事（残業など）と友人の約束（食事や飲み会など）が重なったらどうするか？

「なるべく仕事を優先する」が 55.1%と最も多いが、「いつでも仕事を優先する」も 20.1%と回答が比較的多かった。合計すると 75.2%となり、友人の約束よりも「仕事を優先」派が多いようだ。



7. あなたが今、興味のあるもの、関心の高いものは何か？

この項目では、男女の回答に大きな開きがみられた。

<男性>

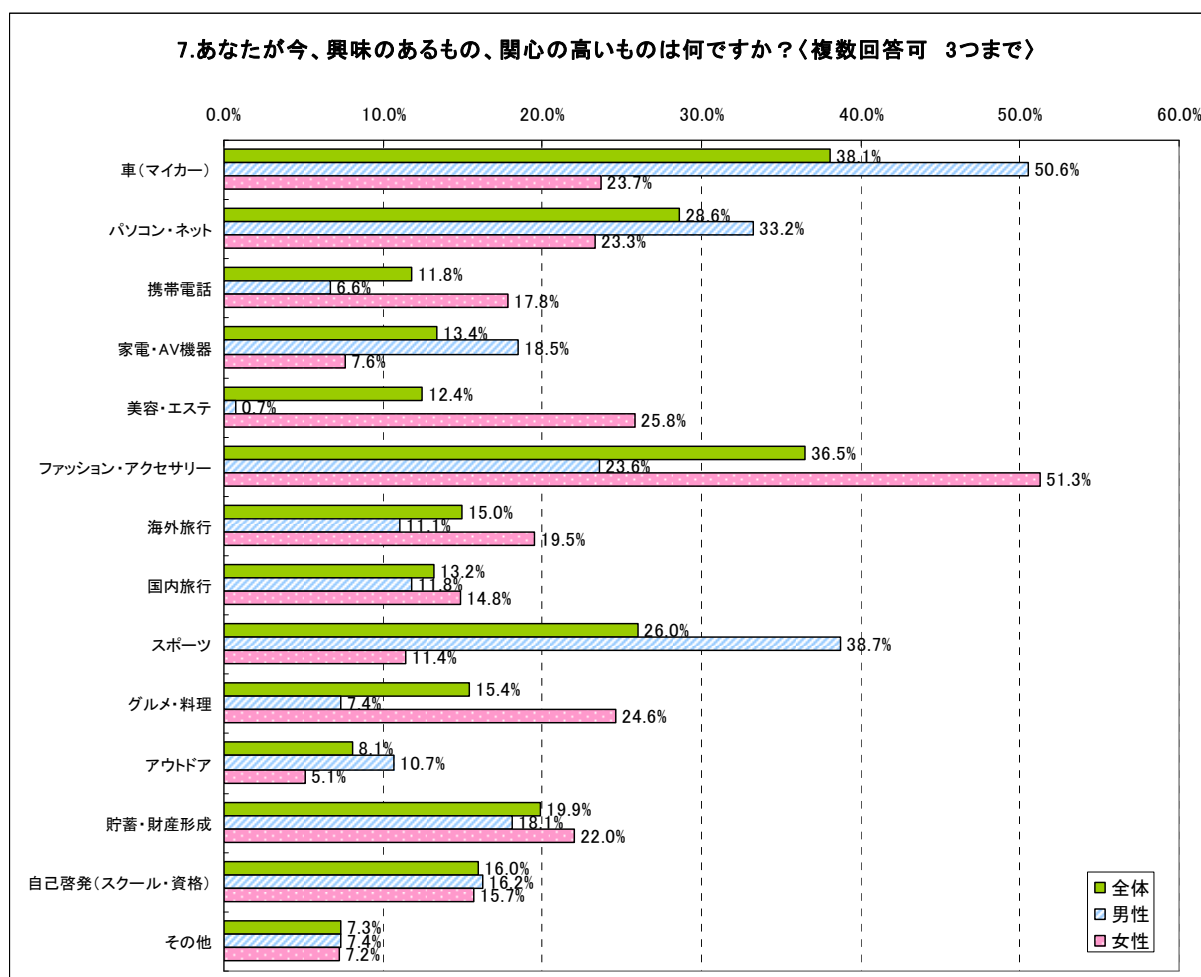
- | | |
|---------------|-------|
| ①車（マイカー） | 50.6% |
| ②スポーツ | 38.7% |
| ③パソコン、インターネット | 33.2% |
| ④ファッション・アクセサリ | 23.6% |
| ⑤家電・AV 機器 | 18.5% |

男性の2人に1人は「車(マイカー)」と回答している。自動車に関する関心が薄れていると言われているが、やはり北関東は自動車がないと不便な地域であるようだ。

<女性>

- | | |
|---------------|-------|
| ①ファッション・アクセサリ | 51.3% |
| ②美容・エステ | 25.8% |
| ③グルメ・料理 | 24.6% |
| ④車（マイカー） | 23.7% |
| ⑤パソコン、インターネット | 23.3% |

女性は圧倒的に「ファッション・アクセサリ」が多かった。「車（マイカー）」にも結構関心が高い。



以上